

医療法人
きらり

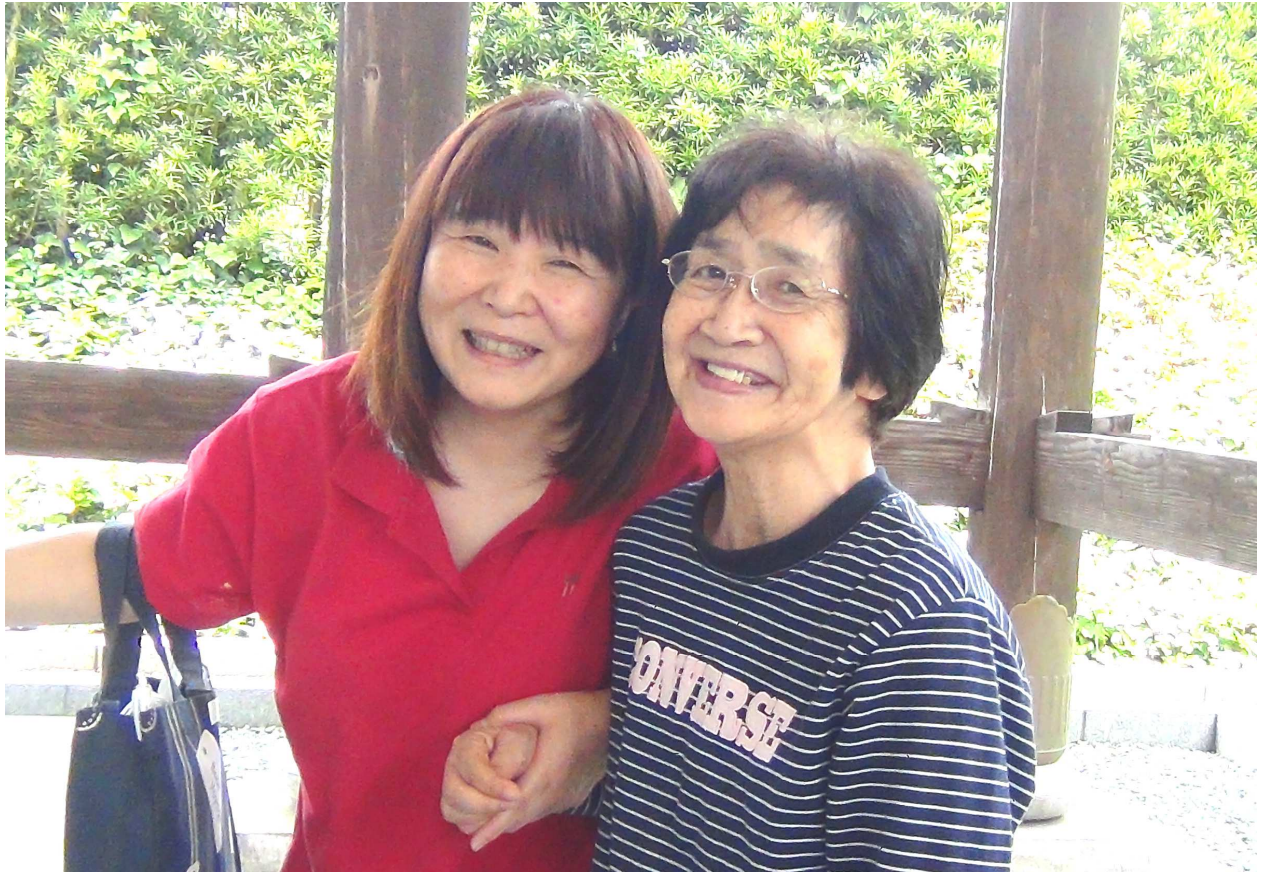
きらり通信

第26号

デイサービスセンターかおり 重度認知症デイケア かおりの家 Dr.盛次診療所

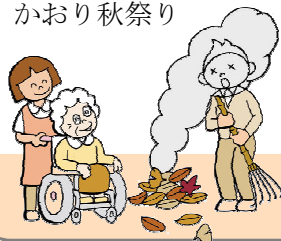
個別ケア中心の高齢者デイサービスを中心に、皆様の在宅生活をお手伝いします。

あるがままの自分で、誰にも遠慮せず、自分らしく最期まで生きていける社会を目指します。



目次

管理者より	2.3.4
新入職員紹介	5.6
Dr.盛次診療所より	7.8.9.10
デイサービスセンターかおりより	11
デイケアかおりの家より	12
いちじく狩り	13
両号の行事	14
かおり秋祭り	15



理念

- 『酸いも甘いもかみ分けて、何でも話し合える大家族を作る』
- 『高齢者が自分らしさを発揮できる』
- 『世間に遠慮しない、社会に迷惑をかける』
- 『高齢者も家族も安心して生活できる』
- 『最期の瞬間まで一緒に過ごす』
- 『高齢者の尊厳を高める事のできる職員を育成し、社会貢献する』

デイサービスセンターかおり

〒791-3120 愛媛県伊予郡松前町筒井 1579 番地 1
TEL 089 (961) 6900 ・ FAX 089 (961) 6901

Dr. 盛次診療所 デイケアかおりの家

〒791-3120 愛媛県伊予郡松前町筒井 1540
TEL 089 (961) 6262 ・ FAX 089 (961) 6260



盛次家ヨーロッパ旅行アルバム



8月10日から21日まで家族でロンドン&ドイツに行ってきました



娘の堇が念願のロンドン留学！！
迎えに行くため、家族で行ってきました。

管理者 盛次 有希



イギリス



8月10日から14日までロンドン滞在

ロンドンと言えばロイヤルファミリー。今年はエリザベス女王の逝去というニュースで賑わいましたね。私たちが行ったのは、エリザベス女王が亡くなる数週間前でした。毎年8月はロイヤルファミリーは避暑に出掛けるため、その時だけファミリーの住居であるバッキンガム宮殿内の見学ができます。そんな貴重な体験をした結果！の写真がコレ。



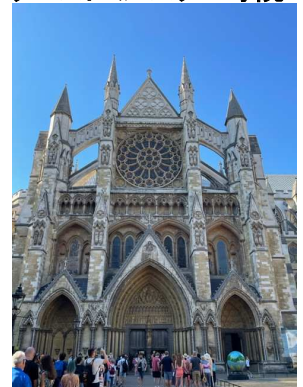
バッキンガム宮殿の前は
いつも大賑わい



衛兵の交代式を見てきました



エリザベス女王の
葬儀が行われた
ウエストミンスター寺院



子供たちの大好きな
シャーロックホームズ



私と堇はショッピング

オックスフォードストリート ビッグベン



家族で本場のミュージカル
「ライオンキング」鑑賞





ドイツ



8月14日からはドイツに移動

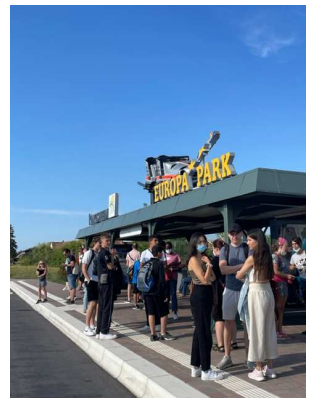
8/14 フランクフルト

到着してまずはドイツ料理を堪能



8/15 ヨーロッパパーク

ディズニーランドのアトラクションを作っている会社が運営する、ディズニーランド並みの規模のテーマパークに行きました。
ドイツの新幹線に乗って行きました。

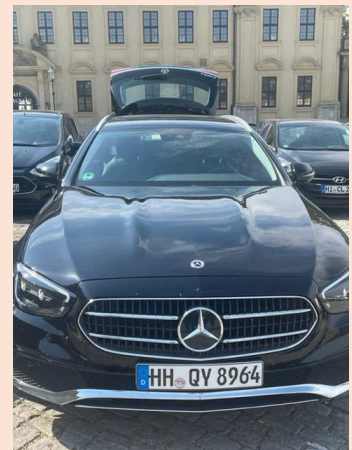


8/16 ケルン大聖堂



8/17-18 ロマンティック街道

なんとベンツをレンタカーして！！



ロマンティック街道は、南ドイツをヴュルツブルクからフュッセンへ縦断する人気の観光街道。東京から大阪の距離に匹敵する約 350 kmの街道上に、中世の面影を残す街並みやアルプスの大自然の中に佇む古城や教会が点在しています。

まるで絵本の世界！ロマンティック街道沿いの街並み

ディンケルスビュールのカラフルな家並み



ネルトリンゲンの円形通路



ノイシュバンシュタイン城



ローテンブルクでステイ

かわいいホテル ロマンティックな教会 クリスマスマーケット



フュッセンのヴィース教会

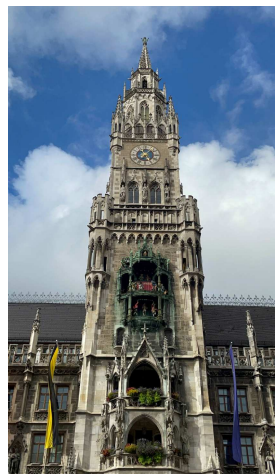
教会の壁画 かわいい親子!?



8/19-20 ミュンヘン

旅の締めくくりは
大都会「ミュンヘン」

大道芸はなんと！
クラシックを演奏する人たち。
大都会だけど、昔の良きヨーロ
ッパの風情が残る素敵な街で
した。でも週末は人がいっぱい。
予約しないとレストランにも入れ
ないほどでした。



旅を終えて・・・

ロンドンでは、ロイヤルファミリーの人気ぶり、都会の喧騒を味わいました。
ドイツは、とても街並みも空気もきれい。ライン川は渇水でしたが、絵本や写真集の中にあるような
美しい光景でした。こんな所に住んだら、心も安らぐのだろうなあと思う街並みです。
毎日仕事で忙しい私達両親ですが、子供達とこんな風と一緒に旅行に行けるのはあと何度でしょうか？
赤ちゃんの頃、皆さんに抱っこしてもらった董も樹もおかげさまで中学生。
董は海外に留学したい夢を持ち、樹はバスケット部に夢中です。
今回の旅では、少し大人になった子供たちと将来について色々語り合うことができました。
次は盛次先生が勉強中のフランスのブルゴーニュ地方へワイン畑巡りに行きたいらしく、子供たちは
留守番になるのかもしれませんが(笑)

新入社員の紹介

看護職員

土居 枝里香 どい えりか ←

8月1日に看護師として Dr.盛次診療所に入社した土居枝里香です。

地元は双海町です。南予の雪深い所で生活していたので、冬は毎日、雪情報の心配をしていました。こちらは雪の心配があまりないので一安心です。

両親の介護のために戻ってきましたが、何かと衝突もあり、かおりのスタッフさんを見習わないといけないと思っています。ここでは介護も勉強させてもらいながら、両親の心配事を少なくできるように、また笑顔で暮らす手助けをしたいと思っています。

いたらない所もありますが、一日でも早く慣れるように頑張ります。

よろしくお願いします。

ご両親の介護も頑張れ！



看護職員

中矢 美奈 なかや みな ←

8月1日から診療所の看護師として入職しました。中矢美奈です。

身体を動かすことが好きで。週に2回のバレーボール、週末は子供と一緒に野球をして汗を流しております。体力的にはまだまだやれるぞ！と頭では思っています(笑)。

運動も上手です！

職員の皆さま方には、温かく迎えていただき、嬉しく思っています。

わからないことだらけで

ご迷惑をおかけするかと
思いますが、

一生懸命頑張りますので、
よろしくお願いします。



新入社員の紹介

介護職員

菊池 勇太 きくち ゆうた ←

令和4年5月21日(土)に、介護職員として入社しました菊池勇太です。

ご利用者様そして先輩職員さんに温かい目で見守って頂き、日々の仕事に従事させてもらっています。今年の5月上旬まで大洲に住んでいましたが、かおりの入社を機に地元の松前町へUターンしました。介護の経験については、7年ほど特養・短期入所の介護職員、3年ほど福祉施設の事務員をしていました。

趣味は、「愛する妻と子と3人でドライブや旅行へ行くこと」、「動物の絵画をコレクションすること」です。コロナ禍ということもあり、

ここ数年、自宅で過ごすことも多かったため、まずは近場にドライブや旅行へ行こうと思います。

通所(デイサービス)での仕事は初めてで、かおりの皆さまへご迷惑をおかけするとは思いますが、持ち前の諦めない気持ちと、イケメン顔(自称:松前のイケメン)で「かおりの家族の一員」となれるよう精進してまいりますのでどうぞよろしくお願いします。

松前のイケメン(?)、菊池です!



さあ、来月は「かおりの餅つき」～餅は、丸めるもの?切るもの?～

来月12月には、恒例の「かおり餅つき」があります。おくどでもち米を蒸して杵と臼で餅をつき、利用者さんに丸めてもらいます。さて、愛媛では丸餅が主流ですが、私が住んでいた新潟では、「餅は四角いもの」が当たり前でした。同じ日本なのに餅の形に違いがあるのはどうしてでしょうか?

東日本は角餅、西日本は丸餅 ～では、境目はどこ?～



日本の餅は、もともと丸い形をしていたそうです。諸説ありますが、江戸時代に人口増加に伴い一度にたくさん作れるのし餅を切った角餅が生まれ、運搬に便利なことから、江戸から徐々に広まったとされています。現在は、東日本は角餅、西日本は丸餅が主流。その境目は岐阜県の関ヶ原あたりで、ちょうど境界線上にある岐阜、石川、福井、三重、和歌山の5県では、角・丸2種類とも使われるところもあります。

例外として、東日本でも、北前船が運んできた京都文化の影響が強い山形県庄内地方と、つきたての餅を年間60日以上食べる習慣のある岩手県一関市は、丸餅が主流。また、西日本でも、高知県(土佐藩)と鹿児島県(薩摩藩)には、藩主の山内氏や島津氏が長く江戸に留まっていたので、角餅を使う地域があります。(農水省 HP より)

丸餅が主流の愛媛ですが、今ではスーパーなどで角餅を売っているところもあります。食べ比べてみるのも面白いですね。





コロナとの闘い



今年は、医療法人きらりいで2回コロナクラスターが発生した。
その時、私たちがどう対応したか報告をしたい。

2022年4月 クラスターin2号 ~1人目の陽性者発覚日 4月26日~

すぐに全利用者・職員に抗原検査を実施

利用者4名・職員3名、合計7名の陽性者が分かる。その後は芋づる式に人数が増え、最終的には利用者10名・職員8名、合計18名の陽性者。

【対処】

お休み期間は、4/27-5/3。5/4・5は縮小営業を行い、5/6~完全復活。

休業中は、陽性者への訪問を盛次ドクターの往診と協力機関のヘルパーステーション日和と行う。また濃厚接触の職員が濃厚接触の利用者宅を訪問し必要な支援を行うことで対処。

2022年8月 クラスターin1号 ~1人目の陽性者発覚日 8月20日~

すぐに全利用者・職員に抗原検査を実施

職員3名の陽性者が分かり、その翌日から猛スピードで陽性者が次々とわかる。最終的には利用者16名・職員12名、合計28名の陽性者。

【対処】

お休み期間は8/23-31、9/1~完全復活。

全員が陽性となり、9割の利用者が陽性者となった。1割の濃厚接触者の利用者に対しては、既にコロナに感染し復帰直後の職員が食事の配達や必要な支援を行うための訪問を行い、CMとサービスの調整をした。

9割の陽性利用者については、4月同様にヘルパーステーション日和さんと連携し、陽性職員が自身の体調と戦いながら訪問によるサービスを行った。休業中の1号館はまるで野戦病院状態。職員が咳込みながらも、準備をして、必要な処置やケアが行えるよう訪問をする。時としては重症化しそうな利用者を連れてきて、点滴などの対応を行った。万全に感染対策をしても、医療行為を行う診療所職員にも感染が広がったが、短期間で感染者の拡大を終了させ、9月1日からは1号・診療所の営業を開始。9月5日からは全利用者が利用再開となった。

2号クラスター期は、

幸いにも2次感染は職員家族1名と利用者の夫が一人だけだった。100歳近い人たちもいたが、重症化することはなかった。その理由として考えられることは、寝たきりもしくは寝たきりに近い人で感染した人がいなかったことだと思われる。デイ休業中も手厚い介護をご家族や日和さんが実施してくれた点が大きい。感染対策は万全だったため、1号への感染は免れた。

しかし、1号クラスター期は、違った。

まず、感染の拡大が爆発的だった。8/20陽性者発覚後、すぐに全員自宅待機としたが、既に感染は広がっていた。中でも今回重症化した方のケースを紹介する。

Aさん

94歳、女性。70歳くらいから視力障害あるが、昨年までご家族の分も含め、日に1食は作っていた。今年3月に脱水で動けなくなり2回の入院を経験。入院中は全く食事がとれなかった。結果、栄養の指標である血清アルブミンが1.9まで下がっていた。かなりの栄養障害。全身に痛みがあり、入院中に完全に寝たきりになっていた。これ以上治療できないために看取りの覚悟で在宅に戻った。そしてデイ・ヘルパー中心に献身的に介護。線維筋痛症と判断し、ステロイド投与がうまくいき、座位が取れるようになり、普通に食べられるようになった。

元気になり、寝転んだまま一人でお菓子を食べるのが好きな人。22日往診時、抗原検査で陽性になる。症状はなく、熱発もない。感染後数日は寝たきりのまま、ベッド上で、好きなお菓子を食べて続けて過ごしていた。コロナでもこのまま無症状で終わってくればいいなあと思うくらい元気で、僕たちが訪問した時も沢山おしゃべりをしてくれた。しかし25日に39度の熱発。往診すると、嘔吐して誤嚥している。コロナの熱発だと思った。この時は僕も今回のコロナの特徴がよく分からなかったので、保健所を通じて、コロナ受け入れ病院に搬送。結果、コロナによる肺炎ではなく、誤嚥性肺炎で、呼吸管理は必要ないため違う病院に転送され、そのまま亡くなってしまうという最悪の事態になった。

Bさん

脳梗塞や腰椎圧迫骨折の既往あり、車いす、毎日のデイ利用がなければ寝たきり状態の人。8/20から熱発あり。8/22にコロナ陽性とわかる。僕が往診した際はすでに誤嚥性肺炎の状態にある。自宅ではご家族が感染覚悟で介護をしており、点滴と口腔ケア、食事対応が必要なため、1号陽性者職員が献身的に介護を行ったが、なかなか回復しなかった。

Cさん

重度な障害あり、毎日のデイ利用やショートステイを使っている方。陽性発覚後、障害を患っているご家族では介護ができないため陽性職員が泊まり込みでお預かりした。8/26に嘔吐して窒息状態となった。何とかその喉の詰まりが取れないか、コロナ受け入れ病院の呼吸器内科に相談。もう、看取りしかない、と言われた。余命数日だと思っ、と伝え、家族にも覚悟してもらった。

Dさん

ご夫婦でお住いのDさん。最初に感染した奥様は高熱で2日間寝ていたが、特に命に係わることなく回復中だったが、旦那さんが、仰臥位でゴロゴロと喉が鳴っている状態だった。トイレに行きたくても立ち上がれず、ベッド下に座り込んでしまう状態。食事もほとんどとれない状態だった。1号陽性者職員が訪問し、介護を行ったが、食事がとれない状態が続いた。

4月のクラスターでは重症化する人は誰もいなかったが、今回は違う。どうしてなのか考えてみた。
重症化した人の共通点は次の通り。

- 90歳以上
- 低体重で虚弱
- 誤嚥性肺炎
- 嘔吐
- 寝たきり状態

すぐに入院を決めたため、亡くなってしまったAさんのケースを考え、デイで陽性者の受け入れができないかスタッフに相談した。理由は、コロナの治療ではなく「誤嚥性肺炎の治療」が必要で、それには僕（盛次医師）と僕のスタッフ（診療所・デイスタッフ）が今までにも何人も改善・回復・完全復帰をさせることができたという自信があったから。

まず必要なこと。右気管支奥までの吸引。頸部屈曲、抗菌剤、輸液、積極的リハビリを実施した。

Cさんは気管内から血性の膿が排出された後、徐々に解熱してきた。唾液の嚥下もできるようなので、食事再開のめども立った。

Bさん、Dさんも寝かせきりにせず、1号にお連れして点滴とリハビリを実施し、口腔リハビリも積極的に実施した。

全員に対して、特に嚥下ができていないかのチェックは念入りに行った。超高齢者は発熱すると立てなくなったり、歩けなくなったりする。筋力低下が機能障害として現れるため。咽頭・喉頭の機能障害が起こりやすいと見た。

これらのケアを毎日継続して行った結果、見事全員復活し、看取りと言われたCさんは自宅に帰った。9月に開催した秋祭りでは全員が美味しいお刺身が食べられる状態に戻った。

今回の経験を経て…ポイントを次のようにまとめる。

- コロナ急性期にあっては、上記のような特徴を持つ人たちには絶食、輸液、抗菌剤、口腔ケア、頸部屈曲、座位その他動かすことで乗り切ることができる。
- コロナの特徴として、痰が喉にへばりついた感じがしばらく残る。後遺症だろう。そのため、しばらく飲み込み難い状況が続き、それをそのままにしておくと、咽頭貯留物のため、咽頭反射が低下し、再び誤嚥性肺炎を起こしてしまう。必要に応じて、吸引をほぼひと月は続けた方がいいということも分かった。

この間、当院外来はしばらく閉めたが、デイでは野戦病院状態が続き、毎晩、誰かが泊まり込み、法人で皆の夕食をテイクアウトで取り、職員を慰労しつつ、互いに励まし合って乗り切った。職員もコロナに加えて介護の疲労がたまり、畳に横になっている者もいた。何とかみんなに助かってほしい、元のかおりに戻したいという強い信念、そして一番最初に亡くなってしまったAさんに対しての無念を抱え、本当によく乗り切ってくれたと思う。

4月にクラスターが発生した2号館は、この間陰性者の対応を受け入れてくれた。4月の時に経験した大変さが分かるからこそ、陰ながら毎日応援をしてくれた。診療所スタッフも、治療のため感染した者もいたが、誰一人弱音を吐かず、現実を受け入れて仕事をしてくれた。事務員たちも、今回のコロナで受けられる補助金や請求業務を調べ、淡々と処理をしてくれた。

私はすべての職員に最高の賛辞を贈りたい。みんなが一丸となったおかげで、この体制が取れ、みんなを救えたと思う。

コロナでの死亡者、どういうパターンなのか、もう少し知識があれば、最初のAさんを入院させることはなかった。デイでの受け入れ態勢を整えることができれば、Aさんも復活させることができたと思う。安易に入院を選択せざるを得なかったところが残念でたまらない。

最後に…デイサービスやデイケアでお年寄りをお預かりするって、どういうことだろう？

昼間の間、施設に来ていただいて必要なサービスを提供するわけだが、この必要なサービスにはかなりの幅がある。一般的なデイは決まりきったサービスを提供するだけである。送迎、リハビリ、食事、入浴、レクレーションなどだ。ただ残念なことに、それらのサービスとサービスの合間は何にもない。ただボーとして時間を待つだけ…、そういうところが多い。僕が往診に行った所で、皆がひたすらボーとしているときに、職員さんに「今は何の時間？」と聞いても、自由時間とか休憩時間と答える。それは職員にとっての休憩時間なのかな？と思ったこともたびたびだ。

このように普通のデイでは、決まりきったサービスだけが提供され、利用者さんが「風呂に入らない」とか「レクはしない」と言った時には、その方は一人ですっとボーとし続けることになる。

さて、そんなデイにコロナが襲ったらどうなるだろう？まず、コロナの人、コロナ感染が疑われる人は出入り禁止となる。そしてその数が多いと、デイ自体が休業してしまう。そして通っていた人はお家で何もせずに過ごすことになる。寝たきりや寝たきりに近い人はコロナ感染で誤嚥性肺炎を起こすことが多く、亡くなる原因の一番となる。僕は、医師として、そんなデイサービスを作りたい、デイサービスはリハビリを実行できて、大きな成果をあげられるサービスなんだということを実証するためにかおりを始めた。このコロナクラスター期で改めて同じ思いで動いてくれた、診療所職員、デイの職員、そしてヘルパーステーション日和さんに敬意を表したい。また、僕たちの想いを受け入れて、通所を続けて頂いている皆様にも感謝を伝えたい。

きらりの理念

1. 酸いも甘いも噛み分けて何でも話し合える大家族を作る
2. 高齢者が自分らしさを発揮できる
3. 世間に遠慮しない、社会に迷惑をかける
4. 高齢者も家族も安心して生活できる
5. 最後の瞬間まで一緒に過ごす
6. 高齢者の尊厳を高めることのできる職員を育成し、社会貢献する

これが医療法人きらりの理念だ。利用者も、職員も私にとっては家族のように大切な存在。そんなみんなと今回はコロナクラスターを乗り越えることができた。本当に感謝をしている。この理念の下、みんなが一丸となって動いた結果だったと思っている。

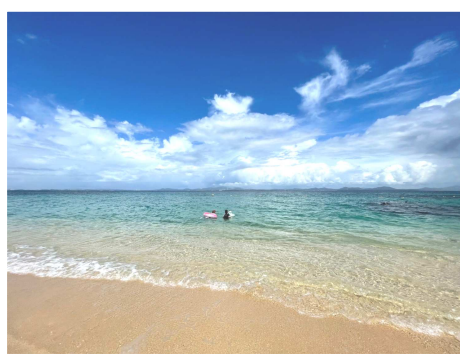
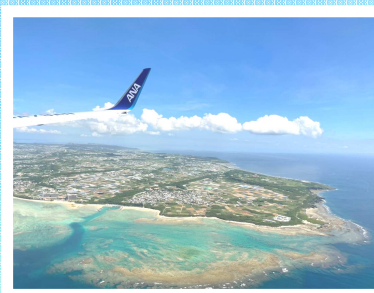
南の島に行ってきました



2022年の8月の我が家は新型コロナウイルスとの戦いでした。

前半は子供たちが感染し、後半は僕が感染してしまう状況で、せっかくの夏休みなのに、子供たちは療養生活や隔離生活で夏らしい遊びができず、窮屈な思いをさせてしまいました。

しかし、コロナとの戦いを乗り越えた僕たちは「抗体」という無敵な体を手に入れたので、夏らしい遊びを取り戻すべく、少し遠いきれいな海に海水浴に行くことにしました。



ここは同じ日本なのに9月の後半でもまだまだ暑く、今年の夏に十分できなかった海水浴を楽しむことができました。



心配だった天気もなんとか回復してくれて、1日中きれいな海で泳ぐことができました。子供たちの笑顔も取り戻せた気がします。



コロナを乗り越えた方々はぜひ、今までできなかったお出かけに行きましょう！
デイサービスセンターかおり 二宮 礼

旬の食材を食べて心も体も元気いっぱい!!(秋バージョン)


秋と言えば「読書の秋」「スポーツの秋」「食欲の秋」ですね。🍁
その中でも「食欲の秋」の由来について調べてみました。🍁


「秋は美味しい食べ物が多いので食欲の秋だろう」なんて言っている人は間違いです。寒い冬になる前に、体温・体力を保つために「冬の準備」として秋の段階から食欲が増します。人間や動物の本能と言われています。暑い夏でバテた体の不調を戻すため、涼しくなった秋には自然と食欲が増すようになっているのです。


体の仕組みで、自然と太っちゃいますね(笑笑笑)


秋の旬の食材を美味しく食べよう


秋刀魚(さんま) さんまには沢山の栄養が含まれています。中性脂肪やコレステロールを下げる働きを持つDHAやEPAを豊富に含んでいるだけでなく、カルシウムやビタミンAやEなども豊富です。刺身、塩焼、蒲焼き、炊き込みご飯等食べ方のレパートリーも豊富です。





さつまいも 
甘くておいしく食物繊維も豊富ですが、糖質量もたくさん!焼き芋1個(300g)はご飯大盛り1杯(200g)と同じ位です。食べる際は量に気を付けて下さい。

なし  1日の目安 1/2個
みずみずしくシャキシャキした食感のなし。水分やミネラルが多く、他の果物と比べ糖質量が少ないのがうれしい要素。便秘解消を期待できる成分も含まれています。

柿  1日の目安 小1個
甘柿、渋柿など種類が豊富で栄養素も異なりますが、ビタミンCが多く、1玉で1日に必要な量を摂取可。ただ、胃腸の粘膜を収縮させるタンニンが多く、注意が必要。

りんご  1日の目安 1/2個
りんごは、カリウムや抗酸化作用のあるポリフェノールが豊富。皮の部分に栄養が多く、皮ごと食べるのがおすすめです。

ぶどう  1日の目安 小1房
ポリフェノールが豊富で、甘くみずみずしいぶどう。一口サイズでつい沢山食べてしまいがちですが、糖質量が多いので注意しましょう。

栗  1日の目安 中10個
栗は栄養素の種類が豊富。特にビタミンB1やB2は美肌効果が期待できます。食物繊維が多く、便秘改善も。冷え症にも効果ありです。

旬の食材って何で良いの…?

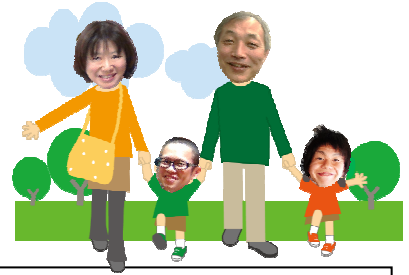
食物の旬とは、「最も生育条件がそろった環境で育てられた最も成熟している時期」で、味もさることながら、含まれる栄養価も1年で最も高い状態にあります。旬の野菜にはその時期の体にあった作用があります。春野菜は、冬の間ゆっくり過ごした胃腸の働きを優しく目覚めさせてくれる役割があり、夏野菜には、暑い夏を乗り切るために体を冷やしたり、食欲を増進させる効果があります。そして、寒くなる秋から冬にかけては、体を温めてくれる根菜類が旬を迎えます。

毎日の料理に旬の食材を活用し健康な体に!! デイケアかおりの家 義農 麻絹

新聞記事シリーズ 第14弾

恐るべし!お出かけパワー!!

久しぶりの「いちじく狩り」。利用者さんのテンションも上がります。いつもは食の細かい方が、外出先だとモリモリ食べたりして…。お出かけのパワーはすごい!!



2022年(令和4年)10月13日 木曜日

第538272号 (日刊)

松前新聞

松前新聞社

きよの紙面

内子でバイオマス発電

4

いざゆけ!! 若鷹軍団

16

西条まつりで新みこし

7

医療法人
きりり

もぎたていちじくを堪能

伊予郡松前町のデイサービスセンターかおり、デイケアかおりの家の利用者が、久しぶりにいちじく狩りに出掛けた。(5面に関連記事)

当事業所では恒例の外出行事だったが、新型コロナウイルスの影響で、二年ぶりのいちじく狩りとなった。参加したのは利用者や職員あわせて42人。10月6日と12日の二日に分かれて西条市丹原町の「はつきり農園」まで足を延ばした。久しぶりの外出は食欲を刺激したようで、全員で合計300個以上のいちじくを平らげたそうだ。

外出パワーの好事例をひとつ。猛暑の影響かデイでの食事が半分以下になり「疲れた」が口癖、すぐに横になる状況が続いていた女性。「体力をつけていちじく狩りに行くぞ」を目標とし、食べる事と歩行訓練を続けた。当日は「遠いねえ」と言いながらも丹原までのドライブを楽しみ、なんと、10個以上食べた後、昼食も完食した。その他にも10個以上食べた利用者が何人も。恐るべし「お出かけパワー」である。

感染対策を講じつつ、今後も利用者のリハビリに役立てて行きたいものだ。

いちじく大好き! =西条市丹原町(撮影・かおりスタッフ)



もぎたては格別です

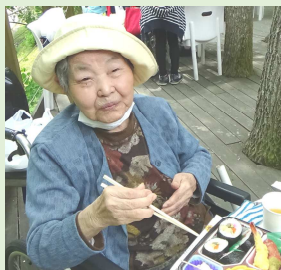
各号の風景

内子外出 5/19.6/18

内子町の町並みと涅槃像を見て、道の駅「からり」で昼食。久しぶりの外出を楽しみました。



「からり」でお弁当



買物は楽しい♡



おやつは別腹?!



1号 焼肉昼食会 7/20.8/4

暑い夏を乗り切ろう！焼肉を堪能した後は、浴衣や甚平で盆踊りを楽しみました。



食べるぞー！



テイクアウト昼食 7/14.20 2号

伊予市の料理店「味芳」のテイクアウトを利用し、ちょっと豪華な昼食を楽しみました。



秋を満喫しよう!! 9/16.17 食欲の秋・楽しい秋

秋まつり

司会は
1日目は
マリリン・ハマダ
2日目は
キャサリン・ハマダ



管理者・盛次有希のあいさつ

今日の秋祭りはいかがでしたか？
皆で楽しい一日を過ごす事が出来ました。
明日も明後日も、来月も来年も。こんな楽しい日
が当たり前のように、私たちは病気にも制度にも負
けず頑張らなくてはなりません。なので皆さんも諦
めないで下さい。

かおり秋祭り万歳!!
コロナに勝ったぞ! 万歳!!



魔法の言葉…
「絶対調〜!!」

食欲の秋を満喫!



芋炊き
刺身三種
胡瓜の酢物
秋鮭のばら寿司
フルーツ盛合せ

乾杯の音頭は
藤井恵美子さんと菅野スマさん。
「みなさん、一丸となってこの祭りを盛り上げましょ
う。かんぱ〜い。」



楽しい秋を満喫! 太田さん、三瀬さん、山下さんがボランティアに来てくださいました

迫力の「じょんがら節」!

優雅な笛の音

「九州炭坑節」にあわせスタッフが踊りました



「水戸黄門」の演奏で黄門様が登場

みんなで「幸せなら手をたたこう」「もみじ」を合唱!!



野球拳「野球拳」を弾いてもらいジャンケンポン! 熱戦が繰り広げられました



大トリは…Dr.と有希さん対決!!



Dr.が思いっきり叩いて会場から大ブーイング!
ジャンケンに負けたのに有希さんが叩いてしまう
結局、勝負が付かず、会場は大爆笑

みんなで記念撮影



かおり大正琴クラブ (ただいま部員募集中です)

この日のために猛練習?! 津軽三味線とコラボしました



披露さんが詩吟を
披露してくれました

9/17 は入川賢三さんの誕生日
皆でお祝いしました